2024　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	作業療法士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	コミュニケーション学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	402号室
担 当 教 員	竹内　知仁(石橋 康信)	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

本科目の講義や実習を通して、以下4点を図る。
①人間性を高め、人として自分を成長させる素地を養う。
②自己肯定感の高い、心身ともに健康な医療者(対人援助者)となる。
③主体性をもって行動できる、自律した医療者(対人援助者)となる。
④基本的な臨床技能としてのコミュニケーション力を身につけた医療者(対人援助者)となる。

《成績評価の方法と基準》

・レポート課題96%、平常点(準備・態度)4%で評定。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・ PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド [第2版] (医学書院)

《授業外における学習方法》

・ 学外の施設や病院でボランティア体験を通して、対人関係技能を高めること、知識と実践のむすびつけをしていきます。

《履修に当たっての留意点》

コミュニケーションを学ぶ際の最終目標は、「わかる」ことだけでなく、「できる」ことにあります。知識の習得と合わせて、現場での実践力を身につけましょう。演習やグループワークを通して、具体的な実践場面で使えるコミュニケーション能力を高めていきましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	① コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ② リハビリ職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】シラバスを読む。(20分) 【事後学習】対人援助におけるコミュニケーションについて復習。(40分)
		各コマにおける授業予定	対人援助におけるコミュニケーションについて考える。 対人援助におけるコミュニケーションの役割について考える。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	① コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ② リハビリ職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】前回の授業の確認。(20分) 【事後学習】対人援助におけるコミュニケーションの役割について復習。(40分)
		各コマにおける授業予定	対人援助職に求められるコミュニケーション技術の基本を学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	① コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ② リハビリ職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】前回の授業の確認。(20分) 【事後学習】対人援助職に求められるコミュニケーション技術の基本の復習。(40分)
		各コマにおける授業予定	「共感」を伝える技術や「受容(受け止める)」の大切さを理解する。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	① コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ② リハビリ職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】前回の授業の確認。(20分) 【事後学習】これまでの講義内容をまとめる。(40分)
		各コマにおける授業予定	「共感」を伝える技術や「受容(受け止める)」の大切さを理解する。		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	③ ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の授業の確認。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	④　チーム医療や多職種連携のために必要なコミュニケーションについて理解することができる。	配布資料	【事前学習】これまでの経験を振り返り、他者に要点を伝えられるよう発表準備を行う。(60分)
		各コマにおける授業予定	円滑な連携、質の高いチームケア実践のために必要なコミュニケーションのあり方と、実践方法を考える。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	④　チーム医療や多職種連携のために必要なコミュニケーションについて理解することができる。	配布資料	【事後学習】自分の振り返りだけでなく、他者の経験や考えを共有することで、コミュニケーションの在り方についてまとめる。(60分)
		各コマにおける授業予定	まとめ		